

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時： 年 月 日 午前・午後 時
 調査者氏名：

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者：
2. 建築物所在地： 大阪市
3. 階数：

II) 前提条件の確認(いずれも必須) チェック欄

木造住宅である	
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	

※ 2項目のうち両方又はどちらか一方に該当しない場合は本診断の対象外となります

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

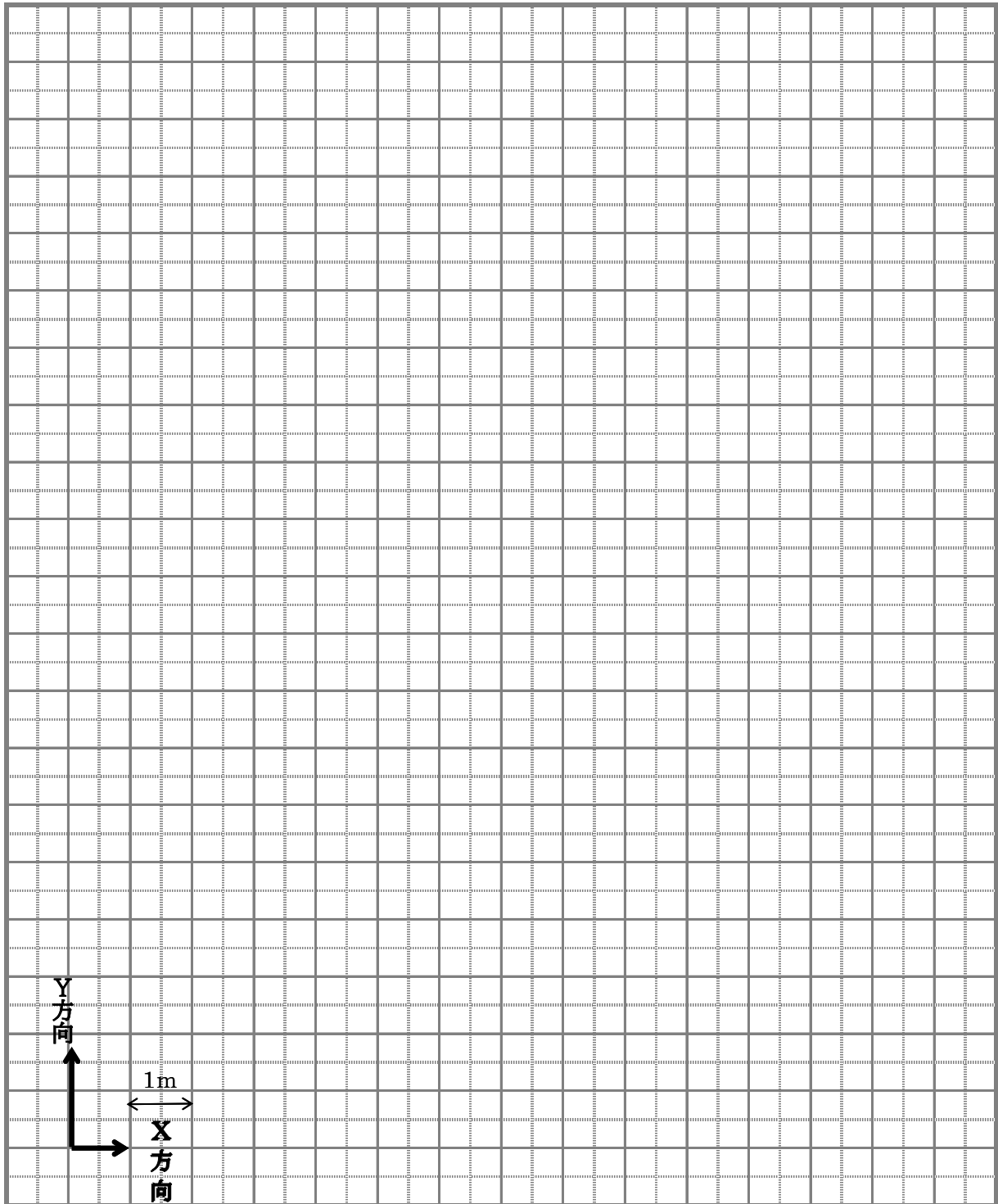
※ 「III)一見して倒壊の危険性があると判断できる項目」において1 つ以上の該当がある場合は記入不要

※ この計算は2 階建て以下の住宅の場合に実施可能、3 階建て以上の住宅は他の方法で診断してください

	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)壁の割合
方向	壁の長さ(m)	建物面積(m ²)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X					
Y					

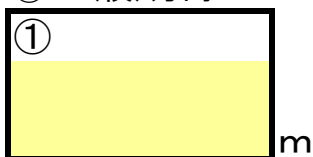
IV)壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

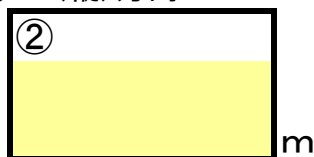


(イ) 壁の長さの合計

① X(横)方向



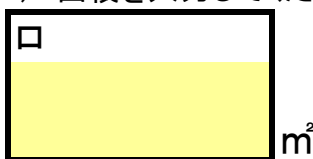
② Y(縦)方向



①②のうち小さいほうを記入してください。



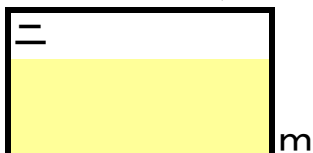
(ロ) 面積を入力してください



(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

$$\text{イ} \div \text{ロ} = \text{ハ}$$

(ニ) 必要な壁の長さを下の表から該当するものを選んで記入してください。



下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数 屋根の種類	平屋	2階建
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板 葺・スレート葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

$$\text{ハ} \div \text{ニ} = \text{ホ}$$

ホ<0.8の時
倒壊の危険性
あり